



東 北 大 学

サイエンス・アンバサダー 活動報告書 2024

東北大学サイエンス・アンバサダーとは -About US-

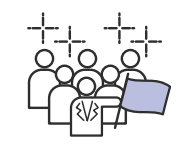
東北大学サイエンス・アンバサダー(以下SAと略す)は次世代女性研究者の育成を目的として2006年に創設された制度(当初はサイエンス・エンジェル)で、本学の有志の女子大学院生(性自認が女性も含む)が総長に任命されて様々な活動を繰り広げています。

例えば、SAは小中高生にセミナーやイベントで自然・人文・社会科学に携わる女性研究者の身近なロールモデルとして、科学や研究の面白さと魅力を伝え、将来の夢を育む機会を提供しています。同時にSA自身も男女共同参画やダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンに関するシンポジウムやスキルアップなどの機会を通じて自己・相互研鑽し、研究者としての使命感の意識醸成に努めています。



Tohoku University Science Ambassadors 2024

活動方針 -policy-



小・中学生や高校生に対して科学の魅力を伝えつつ、身近なロールモデルとなることを通じて次世代の研究者を育成



研究に従事する使命感・責任感の醸成・研究者の卵としてのスキルアップ



世代や分野を超えた女子学生・女性研究者ネットワークの構築



Activity 1 出張セミナー・見学対応
主に中学生・高校生を対象に、研究や大学生活について実際の体験に基づいてお話をします。



Activity 2 科学イベント
子ども向けに科学を身近に感じてもらえるような実験や工作を行い、研究への興味を喚起します。



Activity 3 オープンキャンパス
東北大学のオープンキャンパスにおいてセミナーを開催し、大学進学に興味を持つ中高生の疑問・相談に答えます。



Activity 4 note
研究・大学院生活・進路選択の経験や、仙台の魅力、一人暮らし事情、座談会レポートなどについて、SA自身が執筆しています。

東北大学は日本初の「女子大学生」が誕生した大学です

東北大学が誕生した明治末頃の日本の大学は、旧制高校を卒業した男子学生のための学校であり、正規の学生身分で女性が大学に入学することは考えられていませんでした。ところが、大正2年(1913)にその「常識」を破る事件が起こりました。創立間もない東北帝国大学が、独自の判断で4人の女性の受験を認めたのです。

入学試験のさなか、文部省は「元来女子を帝国大学に入学せしむることは前例これ無きことにて頗る重大な事件にこれあり大いに講究を要し候」云々と事情説明を求める書簡を大学に送りますが、大学は委細かまわず、黒田チカ、牧田らく、丹下ウメ3人の合格を発表、ここに日本初の「女子学生」が誕生することになったのです。

3人の女子学生はやがて卒業して女性初の「学士」となり、その後も副手や大学院生として数年間大学での研究生生活を送りました。



2024年度活動内容

オリエンテーション

オープンキャンパス



日時 2024年7月30-31日(火・水) 12:00-13:30
会場 理学研究科合同A棟共通講義室

今年は2つの会場で、研究内容紹介の講演とポスターによる学部紹介を行い、入試や大学生活について来場してくれた中高生とお話しました。またSAの活動紹介なども行いました。



加藤 ひらり

●所属/理学研究科 化学専攻
●SA経歴/2年
●卒業後の進路/お菓子メーカー(UHA味覚糖)研究開発職
■参加SAコメント/主に中高生向けに研究内容の発表を行いました。発表後に興味を持って質問してくれる方も居て嬉しかったです。「分かりやすく伝える」ことを意識することで自身の研究への理解も深まりました。SAの活動を通して科学の楽しさを伝えることを経験し、発信することの意味も学べました。今後もSA活動の発信力に期待しています。

「8/21 女子大生の日」記念イベント メタバースでオープンキャンパス



日時 2024年8月7日(水) 13:00-15:00
会場 オンライン

今年の女子大生の日、初のメタバースに挑戦し、SAも中高生も手探りで頑張りました。キャラクターの姿で、来場してくれた中高生と進路や大学生活についてお話ししたのは新鮮な体験でした。



倉田 有佳

●所属/教育学研究科 総合教育科学専攻
●SA経歴/1年
■参加SAコメント/SAは毎年、東北大学の「女子の日」に参加しています。今年度は「メタバースでオープンキャンパス〜になりたい自分になる〜」と題して中高生や保護者の方々と交流しました。メタバースでの交流はアバターを介したものだからこそ中高生たちの本音に切り込むことができます。本音で語る中で研究の楽しさに改めて気づかされる貴重な経験でした。

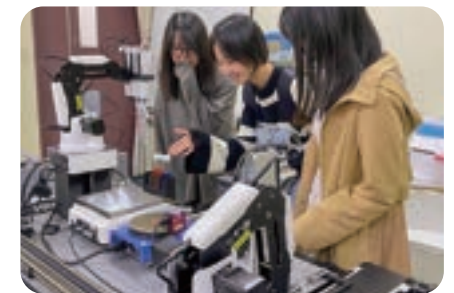
楽しい理科のはなし2024



日時 2024年8月20日(火)10:30-17:30
会場 東京エレクトロンホール宮城

夏休み期間中に親子で実験を楽しめる科学イベントを行いました。お土産にすると万華鏡を作る子もいました。

DX・GX



日時 通年
会場 学際フロンティア研究所

AIや3Dプリンターを駆使し、開発を行っています。今年度は学際フロンティア研究所の先生と共同で実験自動化に向けて試作品の開発を行いました。

SAが
note記事を執筆



名取実験教室



日時 2024年10月19日(土) 10:00-11:30
会場 名取市館腰公民館

名取市館腰公民館で、LEDを使った実験をしました。理科が大好きな小学生がたくさん参加してくれました。

鍋嶋美佳先生
東京海上ホールディングス
(株)執行役員
との懇親会

山形西高校オンライン訪問



日時 2024年12月26日(木) 14:10-16:00
会場 オンライン

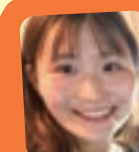
山形西高校1~2年生を対象にSAやSAが所属している研究室の教授から研究内容や進路の紹介を行いました。SAや教授からの話を興味深く真剣に聞く生徒さんたちが多かったです。

まちぶらサイエンス



日時 2025年
3月20日(木・祝)OA
会場 大和町

小島よしおさんと一緒に自然豊かな大和町で身近にある科学について考える番組を制作しました。現地の小学生とともに鉛づり体験や半導体に関する実験などを行いました。



曽我 ゆふき

●所属/生命科学研究科 脳生命統御科学専攻
●SA経歴/1年
■参加SAコメント/ロケ当日までの打ち合わせや準備を通じて、普段の研究生活では味わえない貴重な経験ができ、とてもワクワクしました！ロケ当日は緊張もありましたが、それ以上に楽しく、異なる分野のSAさんともたくさん交流ができ、仲を深められたことが嬉しかったです。

サイエンス・アンバサダー(SA)の
活動の詳細はこちらから→



ロンダ・シービンガー教授との ランチミーティング



日時 2024年11月14日(木) 11:00-12:30
会場 DEI推進センター

ジェンダーが科学にもたらす影響を研究されているシービンガー先生と、普段の研究活動でのジェンダー差についてお話ししました。

DEI シンポジウム

ふくしま探究の種 〈外部インタビュー〉



SAインタビュー



中川 茉莉

2015年3月 岩手県立一関第一高等学校 卒業
2021年3月 東北大学 歯学部 卒業
2022年3月 東北大学病院 歯科研修医 修了
2022年4月～ 東北大学大学院 歯学研究科 博士課程 在籍
2022年4月～ 東北大学 未来型医療創造卓越大学院 プログラム 採用

博士課程の研究と歯科医としてのお仕事を両立されている中川茉莉さん。研究内容と普段の生活についてお聞きました。

Q 研究内容について教えてください。

むし歯や歯周病などが原因で歯を抜いた後、そのまま放置した場合と、適切な歯科治療を受けた場合で生活機能にどのような影響があるかを解析しています。ビックデータを用いてプログラミングのようにコードを打って解析をしています。日本は世界で最も高齢化社会が進行しており、社会の変化に対応した知見が求められます。歯科治療を通じて健康寿命の延伸を目指し研究を行っています。

Q 平日のスケジュールを教えてください。

日中は大学病院で補綴歯科治療(歯のかぶせものや入れ歯)を専門に治療を行っています。週に1回、開業医で一般歯科治療も行っています。また、地域住民の歯科検診や学校歯科検診に出向いたり、学生実習にTAとして参加したりする日もあります。普段は大学病院での診療が終わり次第、メールチェックや研究活動を行っています。研究と臨床の両立ができるよう日々努力しております。

0:00～ 7:00 就寝	16:30～17:00 メールチェック
7:00～ 8:30 朝食・身支度	17:00～19:30 研究・資料作成
9:00～16:00 診療	19:30～ 0:00 夕食・入浴・自由時間・寝支度



先輩から後輩へのメッセージ

根本 菜摘さん

2018年3月 茨城県立緑岡高等学校 卒業
2022年3月 東北大学 工学部 材料科学総合学科 卒業
2024年3月 東北大学大学院 工学研究科 金属フロンティア工学専攻 修了
2024年4月～ 素材メーカー 勤務



オープンキャンパスや片平まつりを通して、科学や研究の面白さを言語化し、伝える貴重な経験ができました。私は高校3年の夏、東北大オープンキャンパスにて女子大学院生の研究の話を聞き、研究に対する情熱に魅力を感じて東北大を志望しました。私自身もSA活動の中で、科学や研究の面白さを伝えることができていれば、嬉しく思います。

二階堂 舞香さん

2018年3月 宮城県仙台二華高等学校 卒業
2022年3月 東北大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻 卒業
2024年3月 東北大学大学院 医学系研究科 血液内科学分野 修士課程 修了
2024年4月～ 検査センター(東京都) 勤務



主に2つあり、一つは他分野の大学院生の方々との繋がり、もう一つは減多にない経験です。活動を通して他分野の方々と仲を深めることができ、研究内容や学生生活のことなどを共有・相談しあえたのは大きなモチベーションにもなりました。また、仙台市長との対談やテレビ撮影など非常に貴重な経験をさせていただいたのは、自分にとって大きな財産になったと思います。



日高 珠希

2018年3月 東京都立八王子東高校 卒業
2023年3月 東北大学 理学部 生物系 卒業
2024年4月～ 東北大学大学院 文学研究科 総合人間学専攻 哲学分野 博士課程前期



理学部を卒業した後、現在は文学研究科に所属されている日高珠希さん。文系SAとして普段どのように活動されているのかお聞きました。

Q 研究内容について教えてください。

自然と人間の関係について、哲学的に研究をしています。学部の際は理学部で細胞生物学の研究室に所属し、生命科学における最新の研究について学んでいました。しかし、だんだんと科学の内容そのものだけでなく、人間は科学で明らかになった知見とどのように向き合うべきか?など、科学と人間、自然と人間の関係が気になるようになってきました。今は特に1800年頃にそういった問題を扱っていた、シェリングという哲学者に注目し、日々本を読んだり文章を書いたりしています。

Q SA活動で印象に残ったことを教えてください。

SAは今年が1年目で、毎回初めてのことばかりで不安もありました。そんな中、最初のSA活動として、オープンキャンパスで進路選択の相談を受けました。それを通して、相談に来てくれた高校生と同じように、大学に入る前は大学生活や研究のことを自分もよく知らなかったことを思い出しました。今年は小学生～高校生とお話しできる機会のあるイベントに積極的に参加して、自分が大学入学前に知っておきたかったことを伝えるように心がけ、充実した活動になりました。

藤田 穂波さん

2018年3月 北海道札幌東高等学校 卒業
2022年3月 北海道大学 医学部 保健学科 看護学専攻 卒業
2024年3月 東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学専攻 遺伝カウンセリングコース 修了
2024年4月～ 北海道大学病院 臨床遺伝子診療部 入職



SAの活動を通して、専門的な知識を相手の関心に合わせて分かりやすく伝える方法を学びました。特に、宮城のまちを歩いて身近な不思議を解明する番組を制作した経験は、SAの仲間との修学旅行のようで楽しい思い出として残っています。SAとして活動しなければ得られなかった様々な経験が、現在仕事をするうえでも役立っています。

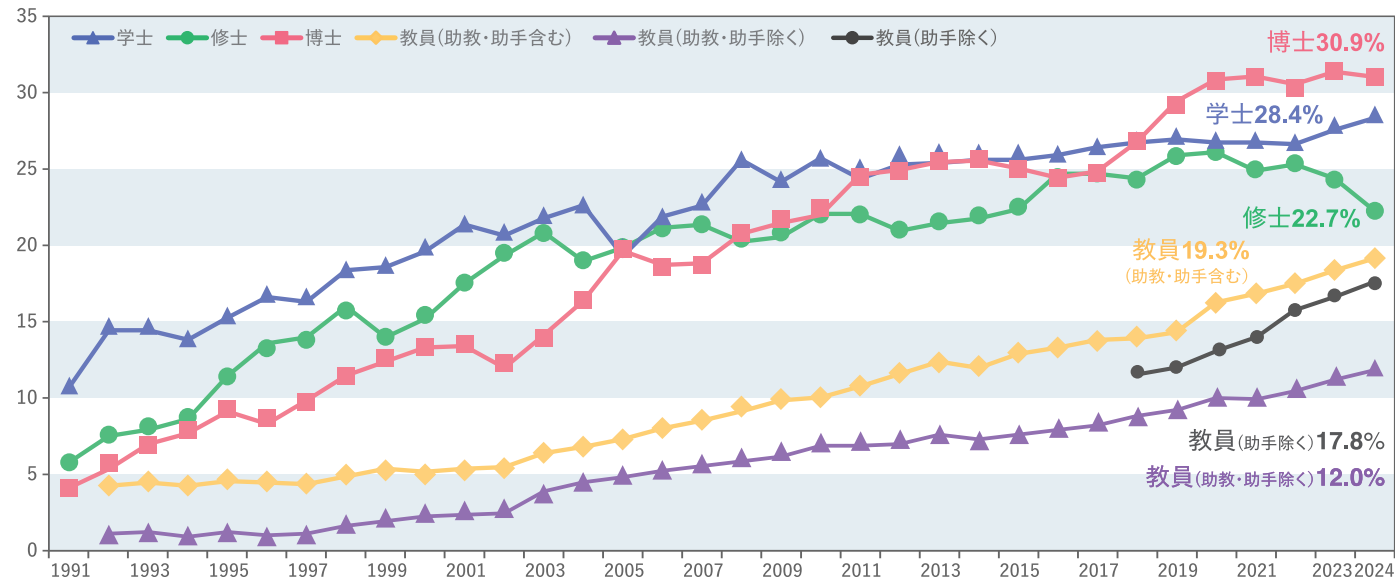
州 周さん

2017年6月 四川省第一高校 卒業
2021年6月 江南大学 外国語学部 卒業
2024年3月 東北大学教育学研究科 修士課程 修了
2024年4月～2025年2月 ラグジュアリー会社 勤務
2025年4月～ 東北大学 事務職 勤務(予定)



SA活動を通じて、多くの日本人や理系の友達ができ、優しい人々とのつながりが広がりました。また、DEI推進センターの先生達からは学業や人生のアドバイスをもらい、貴重な支えを受けました。さらに、SA活動のおかげで佳子内親王殿下との懇談会にも参加でき、豊富な人生経験を得ることができました。この経験は非常にありがたく、人生の宝物です。

▶東北大学における女性研究者比率の推移(教員数は、クロスアポイントメント・業務委託を除く)



女性研究者が活躍できる環境があります

東北大学では「両立支援・環境整備」「女性リーダー育成」「次世代育成」を目的に、研究・教育と育児・介護等の両立のための支援要員派遣やベビーシッター利用料等の補助、女性研究者のスキルアップのための研究費などの支援事業を実施しています。また、教職員・学生を対象とした3つの学内保育園および病後児・軽症病児保育室が整備されています。

詳しくはDEI推進センターのWeb「サポートプログラム」をご覧ください。



SAのOGは国内外で幅広く活躍しています

▶大学・研究所・官公庁など

東北大学、九州大学、大阪大学、佐賀大学、国連大学、東京医科歯科大学、文部科学省、経済産業省、農林水産省、国土地理院、医薬品医療機器総合機構、日本原子力研究開発機構、国立極地研究所、科学捜査研究所、産業技術総合研究所、シカゴ大学(アメリカ)、IGB-Berlin(ドイツ)、ルーヴェン・カトリック大学(ベルギー)、高校教員、県庁職員など

▶民間企業など

製薬、食品、自動車、通信、化粧品、医療機器、化学、繊維メーカーなど、多岐の分野にわたる国内外多数の企業に就職しています。

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進基金へのご協力のお願い

東北大学では東北大学サイエンス・アンバサダー活動の充実や、各種男女共同参画・女性研究者支援事業の実施、DEI Loungeの運営など「DEIあんしんPROJECT」実施のために募金をお願いしております。

▶寄附の方法・特典などに関するお問い合わせ先

東北大学基金事務局(東北大学総務企画部基金・校友事業室基金係)
〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

TEL 022-217-5058・5905
E-mail kikin@grp.tohoku.ac.jp
URL https://www.kikin.tohoku.ac.jp/



編集後記

昨年度より、現役SAも編集に携わるようになった「SA活動報告書」。本年度も、多岐にわたる活動をご紹介できる運びとなりました。拙筆ながら、2年連続で編集に携わる機会を頂戴し、多くの学びを得る貴重な経験となりました。報告書の作成に際し、ご協力賜りました皆様、また、多様な活動の機会を提供して下さるDEI推進センターの皆様、さらにSAの活動を温かく支え、ご理解を示してくださるすべての方々に、心より感謝申し上げます。(写真左:横山裕香)

SAとして活動を始めた本年度はなかなかイベントに参加できず、年度内に何か少しでもSAとして活動に関わりたいという思いから今回の活動報告書作成への参加を決めました。横山さん、日高さんとともに話し合いを重ねながら本年度のSA活動をよりよく伝えられるよう試行錯誤した結果、とても良いものができたと思います。ご協力いただいたSAの皆様、DEI推進センターの皆様や株式会社ユニグラフィックの皆様に厚く御礼申し上げます。(写真中央:廣瀬まどか)

SAとしての活動は1年目で、報告書の作成も初めてだったので、前年度報告書の作成に携わっていた横山さんにとても助けられました。廣瀬さんご提案のポップなすごろく風のデザインも、株式会社ユニグラフィックの皆様のお力添えもあり、とても良いものになったと思います。作成にあたって協力していただいたDEI推進センターの皆様、SA・OGの皆様、ありがとうございました。(写真右:日高珠希)



東北大学サイエンス・アンバサダーへのご依頼・お問い合わせ



東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進センター

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

E-mail dei-center@grp.tohoku.ac.jp WEB https://dei.tohoku.ac.jp

WEB・SNSで情報発信中



WEB facebook X(旧Twitter)